



資料 2

令和 2 年 10 月 30 日

茂原市長 田中 豊彦 様

茂原市総合計画審議会  
会長 関谷 昇

茂原市総合計画について（答申）

令和元年 10 月 25 日付茂企画第 73 号をもって諮問のありました茂原市総合計画について、慎重に審議した結果、別紙のとおり答申します。



## 答 申

本審議会は、令和元年 10 月 25 日に茂原市総合計画についての諮問を受けて以来、慎重に審議を重ねてまいりました。

その結果、茂原市総合計画は、令和の時代における市政運営の指針として、妥当適切なものと認めます。

なお、本審議会の審議過程における主な意見は下記のとおりですが、本審議会の意見や計画の策定過程において実施された市民アンケート、市民ワークショップ、パブリックコメントなどで聴取した市民の意見について十分に配慮し、茂原市総合計画の実現に努められるよう要望します。

### 記

#### ■基本構想に関する事項

##### 基本方向

- ・頻発する自然災害への対応は喫緊の課題であり、市民の生命を守り、安心して暮らせるまちづくりに努められたい。
- ・持続可能なまちづくりには、それを支える人材の育成が不可欠である。これからの時代を担う子どもたちのため、育てやすい環境づくりと、社会の形成に資する能力の育成に努められたい。
- ・人は地域コミュニティをはじめとする、さまざまな分野の共同体（コミュニティ）に所属している。コミュニティは市民生活や経済活動において基礎となるものであり、これを立体的に捉え、その密度を高めることによってまちづくりの力を引き出すことに努められたい。
- ・人口減少の進行に伴い、まちづくりに使える人や金などの資源は今後減少していくことが見込まれている。これまでまちづくりに参加してこなかった市民や企業などの意識を変え、知恵を出し合える体制づくりを検討されたい。
- ・歴史や文化、自然など、茂原が持っている良さを積極的に発信するとともに、それらを活用し地域活性化に努められたい。

##### 将来都市像

- ・今後、持続可能なまちづくりを進めていくためには、市内、市外の地域資源を活かし、地域、分野、世代を越えた様々な主体がつながることで生まれる力が必要である。市全体がまちづくりの力を生み出す場「交流拠点」となるビジョンを市民が共有できるように努められたい。



## 基本政策

- ・政策分野の名称のみを示すのではなく、各分野における目指す方向を明らかにし、市民にわかりやすく示すように要望する。

## ■基本計画に関する事項

### 全体

- ・まちづくりの重点課題の整理に用いた市民生活に沿った視点は、基本計画にも取り入れて、行政においては分野横断的な取り組みを、市民の側からは自助・共助の動きを、それぞれ誘うような工夫を検討されたい。
- ・まちづくりを我が事として捉えることができるように、各分野の施策が市民生活にどのように関わっていくのかを、分かりやすく示すように努められたい。
- ・計画の進捗評価に用いる成果指標の設定にあたっては、定量的で、誰もが理解できるものとなるように努められたい。

## 教育文化

### ○生涯学習

- ・図書館については、学校図書館との連携強化に努められたい。また、利用者によるコミュニティが生まれる開かれたものとなるよう、施設整備についても検討されたい。

### ○学校教育

- ・子どものうちからまちづくりに関わる機会を与え、地域社会の一員として必要な能力の育成に努められたい。
- ・子どもの教育については、学校の教職員だけに頼るのではなく、地域の人材を活用し、地域全体で支える体制の構築に努められたい。

### ○スポーツ・レクリエーション

- ・「市民ひとり1スポーツ」の理念普及に努め、老若男女を問わずスポーツを楽しむ機会を創出するため、組織横断的な取り組みに努められたい。

### ○文化芸術

- ・文化活動の拠点となる施設の整備を要望する。

## 健康福祉

### ○子育て支援

- ・少子化、晩婚化、核家族化といった社会要因や、経済要因で複雑化した、子育て



て世帯が抱える課題を十分に把握し、必要な支援が行き届くように努められたい。

- ・子育て支援と高齢者福祉など、異なる施策分野で連動し、相乗効果が得られるような取り組みを検討されたい。

#### ○保健医療

- ・心身ともに健康で豊かな生活実現のため、受診しやすい検診制度の整備に努められたい。

### 産業振興

#### ○農林業

- ・農業の担い手育成や農産物のブランド化などの施策については、関連団体と緊密な連携を図りながら、戦略的に取り組むことに努められたい。
- ・市内の農業を持続していくため、新規就農者や兼業農家への支援など、農業経営者の裾野を広げる取り組みを検討されたい。

#### ○商工業・中小企業

- ・中心市街地の活性化については、商業核が移動している現状を踏まえて、見直しを検討する際は抜本的に取り組まれるよう要望する。

#### ○シティプロモーション

- ・歴史や文化をはじめとする地域資源を活用し、受け取り手の共感を呼ぶストーリーの作成と、時宜を得た情報発信に努められたい。

### 安全安心

#### ○消防・防災

- ・災害発生時に自らの身を守る自助には、事前の備えと正確な情報が必要であるため、災害関連情報の周知に努められたい。
- ・消防団や自主防災組織など、市民にとって最も身近な共助の取り組みについては一層の支援に努められたい。
- ・災害発生をなくすことは困難であるため、被害を最小限に抑えて速やかに復興する方策について検討されたい。

#### ○道路

- ・負担に見合った行政サービスの提供を受けていると市民が実感できるように、身近な生活道路の整備とその進捗状況の周知に努められたい。



#### ○消費生活

- ・生活様式の変化、情報化の進展、感染症の蔓延など、消費者を取り巻く環境の大きな変化に対応できるように、相談体制と情報提供体制の拡充に努められたい。

### 都市環境

#### ○土地利用

- ・茂原市が持つ魅力を活かしつつ、目指していく都市環境の基本的な考え方を設定すべきである。実現に向けては、周辺地域とのつながりを考慮した広域的な視点で、かつ、長期的な見通しを持って進められたい。

#### ○市街地整備

- ・商業核の移転に伴い、中心市街地のあり方も変化していることから、整備方針について改めて検討されたい。

#### ○総合交通体系

- ・人口減少により地域公共交通の維持が困難になる一方で、高齢化の進展によりその重要性は増していることから、地域公共交通網の最適化に努められたい。

#### ○公園・緑地

- ・公園や緑地の持つ多面的な機能を考慮し、景観計画など関連する計画とも整合を図りながら、整備、保全に努められたい。

#### ○環境保全

- ・ごみ処理経費の削減と環境負荷の低減を目指し、ごみの減量化やリサイクルに関する取り組みの推進に努められたい。

### 協働推進

#### ○協働のまちづくり

- ・幅広い世代の市民に必要な情報を届けられるよう、ICTの活用を含めた情報伝達体制の構築に努められたい。
- ・自治会活動をはじめとしたコミュニティ活動を活性化するためには、これまで中心的役割を担ってこなかった、女性や若者などの意見を取り入れ、積極的な参加を促す必要がある。
- ・世代、分野、地域などが異なる人たちが交流し、まちづくりに関するイノベーションを生み出すことができるような場の構築について検討されたい。



○人権・男女共同参画

- ・性別、年齢、国籍などが異なる、多様な市民が互いに尊重し合い、その個性と能力を十分発揮できる環境を整えることが必要である。

○適切な行財政運営

- ・職員の能力向上を図る際には、業務遂行能力だけではなく、柔軟な発想や幅広い視野を養うことで、組織全体の活性化に資するように努められたい。
- ・共感を呼ぶことができる、まちづくりの取り組みを考案してPRするとともに、ふるさと納税制度などを活用し、税以外の財源確保に努められたい。

○行政改革と情報化

- ・限られたまちづくりの資源を有効に活用するため、民間と行政が力を合わせて公共サービスを提供する体制の推進に努められたい。
- ・都市機能の共有、分担などについて研究し、近隣市町村との連携強化を検討されたい。また、広域的な視点で茂原市の役割を再認識する必要がある。

**総合戦略**

○全般

- ・全国の市町村が同じ目標に向かって取り組むことから、茂原市ならではの施策を検討されたい。
- ・基本目標に沿った施策群を結び付ける、有機的な戦略を立てることが重要である。

○基本目標 1 産業が力強く成長するまち

- ・企業立地の促進と市内企業の産業競争力強化を図るため、企業が必要とする情報の収集・整理・公開に努められたい。

○基本目標 2 結婚・出産・子育てを応援するまち

- ・子育て支援や教育に力を入れ、多面的・総合的な支援により、若い世代が長く住み続けたいと思えるまちづくりに努められたい。

○基本目標 3 活力と賑わいにあふれるまち

- ・まちの魅力発信にあたっては、市外だけではなく、市民向けのPRにも努められたい。



○基本目標 4 誰もが安心して暮らせるまち

- ・車の所有の有無に関わらず快適に生活できる、交通環境の整備に努められたい。

○横断的な目標 地域力が暮らしを支えるまち

- ・女性や高齢者、子どもたちなど、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できるような社会づくりが重要である。